

平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典 (4案件：学校建設)

2017年3月24日（金）、平成28年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件4件に関する署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、堀之内秀久大使と被供与団体3団体（コンポンスプー州教育・青少年・スポーツ局、ラタナキリ州教育・青少年・スポーツ局、カンダール州教育・青少年・スポーツ局）の各代表が贈与契約書に署名しました。



コンポンスプー州教育・青少年・スポーツ局が実施する案件では、同州ボーセッド郡スラップ・レーン中学・高等学校に校舎1棟6室、トイレ1棟2室を建設し、机・椅子等の学習用機材を整備します。これによって、1,139名の生徒が安全面・衛生面共に整った教育環境で学習できるようになることが期待されています。



ラタナキリ州教育・青少年・スポーツ局は、同州バンルン市サムダイ・アウ・サムダイ・マエ中学・高等学校と同州オーヤダウ郡ヤダウ幼稚園・小学校においてそれぞれの校舎建設計画を実施します。サムダイ・アウ・サムダイ・マエ中学・高等学校では校舎1棟6室を建設し、机・椅子等の学習用機材も整備することで、同校の1,831名の生徒に対する学習環境が向上することが期待されています。ヤダウ幼稚園・小学校では校舎1棟5室、トイレ1棟4室を建設し、机・椅子等の学習用機材と水タンクを整備することで、同校の677名の児童のための安全かつ清潔な学習環境が整備されることが期待されています。

カンダール州教育・青少年・スポーツ局が実施する案件では、同州キエン・ツヴァーイ郡コキー小学校に校舎1棟6室を建設し、机・椅子等の学習用機材を整備します。これにより、同校の1,356名の児童が安全面・衛生面共に整った教育環境で学習できるようになることが期待されています。

式典では、堀之内大使がスピーチを行い、今回整備される学校校舎等について、被供与団体によって適切に管理されることを望んでいる旨述べ、今回の支援がカンボジアの児童・生徒に直接役立ち、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに今回の事業によって整備及び供与される施設や機材を適切に維持していくことを約束しました。

